

野で山で宝の体験

うららファイル

辻一憲理事長

NPO法人「自然体験共学センター」は、福井市の東端に位置する旧美山町上味見地区の廃校を拠点に、四季折々の自然を体験する活動の企画と運営をしています。

NPO自然体験共学センター

■廃校で国際交流
私は福井市で生まれ、高校を卒業後に上京し、大学在学中から国際協力活動に関わってきました。2000年に福井に戻り、翌年から始めたのが「北東アジア子ども交流事業」でした。
日本、中国、韓国、モンゴル、ロシア、北朝鮮（朝鮮学校）の子どもが集まり、大自然の中で「食べる・寝る・遊ぶ・働く」という暮らしの原点を体験するキャンプ活動です。最初の年は長野県泰草村のNPO法人「グリーンウッド自然体験教育センター」の福井事務所として活動し、旧美山町の上味見地区で、廃校になったばかりだった上味見小学校の地元の方が受け入れてくださいました。



自然を味わおう子どもたち 昨年10月、福井市手町

NPOやボランティアの活動ぶりをお寄せ下さい

毎週水曜日の「うららファイル」は、NPOやボランティアなど、市民の手による活動を紹介します。活動のきっかけ、広がり▽大変だったことやうれしかったこと▽今後の展望や行事の計画▽手を貸してほしいこと▽求めている人などを文章にし、活動時の写真などと共に投稿してください。文章の長さは、1千～2千字を目安にします。投稿ご希望の方は、朝日新聞福井総局 (fukui@asahi.com) までメールでお寄せください。郵送、ファクスによる投稿、お問い合わせ先は次の通りです。

〒910・0005 福井市大手3の11の6 朝日新聞福井総局 電話0776・22・0910 ファクス0776・28・7144

NPO法人自然体験共学センター

設立	2001年4月発足2004年3月NPO法人認証
会員数	11人
活動内容	自然体験活動の企画運営・受託
連絡先	〒910・2464 福井市中手町7の3 電話0776・93・2013
ホームページ	http://kyougaku.com

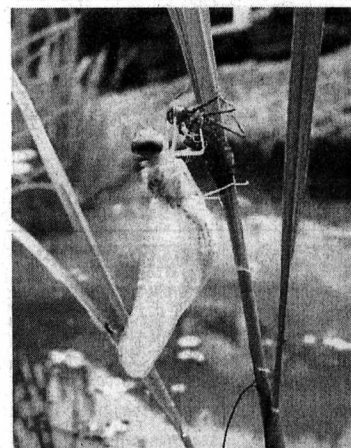
五つの言語と英語が飛びかうなか、理解と友情がどの程度深まるかは不安でしたが、子どもたちは言葉や文化、価値観の違いを超えて仲良くなっています。

き、音楽交流会、工作、はがき作りなどの体験を楽しみました。体育館でふとんを敷いて寝ました。その2日間、廃校はアジアの子どもたちの学校となりました。

10月には、若狭地区で11回目を開く準備を進めています。プログラム、物資、資金、言葉の面で、ぜひご協力をお願いします。

■生き物のふれ合い
この事業を通じて自然体験やキャンプがもつ意義と可能性を実感したことが、上味見小学校を活動拠点として、県内や関西の子どもに向け、自然体験活動を展開することにつながっていきました。

主な活動は夏キャンプや冬合宿のほか、四季折々の自然を年間を通して体験できる週末の日帰りや宿泊です。



上味見地区で見られたヤゴの羽化 福井市中手町、いすれも自然体験共学センター提供

2011年(平成23年)
2月23日
水曜日



キャンプではマッチで火をつけ、薪の火をおこします。皆で作って食べるごはんのおいしき、テントで寝る時のわくわく感とびびり、満天の星空と楽しむキャンプファイアなども、子どもたちにはぜひ体験してほしいことです。

こうした活動をして驚いたのは、マッチを擦れない子どもがいたり、ホタルを見たことがない子どもや大学生がいることでした。

私も子どもの頃からトンボを見て追いかけることは数知れませんが、ヤゴが羽化する瞬間を初めて見たのは3年前のこと。地域の方に教えていただいたヤゴと子どもたちと一緒にやっていた、田んぼの草取りの時でした。

その感動をぜひ子どもたちと共有し、オタマジャクシ、カエル、ヘビ、ホタル、トンボ、鳥など、里山に様々な生き物が集まり、育まれていく様子を見たいと思っていました。子どもたちには、生き物の世界に近い「びびり」を味わってほしいです。

一日中キャンプ場や森で子どもたちと過ごしていると、虫や鳥の声を振る舞いが、昼と夜、明け方と変わっていくのがわかります。人間が自然の一部だと感じることもできるようなためにも、子どもも大人も一緒に楽しむことが大切だと思います。

3月から、幼稚園児や小学校低学年が対象の「ちびっこ春キャンプ」を実施します。幼少期の子どもたちの感性や創造力を育む機会に6年前から始め、毎年100人前後のちびっこが参加します。3月分の参加者を募集中です。この活動を皮切りに、新年度の夏キャンプ(2・3泊)、週末の日帰りや1泊活動なども準備します。今年もまた多くの子どもたちが上味見の自然を体験し、人々のあたたかさに触れ、様々な経験をしてもらえたらと思います。

生き物が集まり、育まれていく様子を見たいと思っていました。子どもたちには、生き物の世界に近い「びびり」を味わってほしいです。

一日中キャンプ場や森で子どもたちと過ごしていると、虫や鳥の声を振る舞いが、昼と夜、明け方と変わっていくのがわかります。人間が自然の一部だと感じることもできるようなためにも、子どもも大人も一緒に楽しむことが大切だと思います。

3月から、幼稚園児や小学校低学年が対象の「ちびっこ春キャンプ」を実施します。幼少期の子どもたちの感性や創造力を育む機会に6年前から始め、毎年100人前後のちびっこが参加します。3月分の参加者を募集中です。この活動を皮切りに、新年度の夏キャンプ(2・3泊)、週末の日帰りや1泊活動なども準備します。今年もまた多くの子どもたちが上味見の自然を体験し、人々のあたたかさに触れ、様々な経験をしてもらえたらと思います。